

**令和4年度
第1回**

**関市総合計画審議会
会議録**

(令和4年5月26日)

第1回関市総合計画審議会

1 日 時

令和4年5月26日（木曜日） 午前10時00分～午後0時20分

2 場 所

関市役所 6階 6-5・6-6・6-7 会議室

3 出席者

委員（19名）

（敬称略、順不同）

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
1号委員	足立 司郎	関市教育委員会
〃	野村 茂	関市農業委員会
2号委員	栗倉 元臣	関商工会議所
〃	植原 純	関市PTA連合会
〃	○ 遠藤 俊三	関市自治会連合会
〃	大野 武志	岐阜県関刃物産業連合会
〃	北村 房子	関市地域女性の会連合会
〃	澤井 基光	関市社会福祉協議会
〃	多田 幸泰	関青年会議所
〃	吉田 千秋	関市消防団
3号委員	◎ 桐山 敏通	中部学院大学
〃	渡邊 恒夫	岐阜医療科学大学
4号委員	村瀬 光昭	関信用金庫
〃	高井 久美子	板取地域選出
〃	山内 美貴子	洞戸地域選出
〃	杉山 弥生	武芸川地域選出
〃	多治見 敦子	武儀地域選出
〃	波多野 清美	上之保地域選出
〃	柴山 隆	公募

◎：会長、○副会長

事務局（関市 5名）

市長公室長 森川 哲也

企画広報課長 岩井 裕子

(企画広報課) 鷺見 幸信 伊藤 敦子 中村 拓哉

4 欠席者

委員 (1名)

(敬称略、順不同)

区 分	氏 名	選 出 団 体 名
2号委員	江崎 久夫	関市老人クラブ連合会

5 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 議題

関市第5次総合計画前期基本計画の施策について

4 意見交換

- ・若者や子育て世代の移住定住促進について
- ・女性活躍の促進について

5 閉会

(午前 10 時 00 分 開会)

○企画広報課長

只今より、関市総合計画審議会を開催させていただきます。本日、司会進行を担当いたします企画広報課の岩井でございます。よろしくお願いいたします。

始めに、所属団体の役員変更により委員の交代がございます。

2号委員 関市PTA 連合会 植原 純 様、3号委員 岐阜医療科学大学 渡邊 恒夫様に新たにご就任いただきましたのでご報告いたします。

本日の欠席委員ですが、4番の関市老人クラブ連合会の江崎委員が欠席でございます。

また、本日傍聴される方が1名ありますのであわせてご報告させていただきます。それでは、桐山会長よりご挨拶をお願いいたします。

○会長

皆様おはようございます。審議会は前回3月と今日、事務局より7月にも予定されていると聞いています。第5次総合計画後期基本計画の議論もだんだん佳境に入ってきました。次第には3番の議題と4番に意見交換があります。議題では、行政の方でまとめたものを現在の知見に基づいてお話いただけたと思います。意見交換は、敢えて意見交換としてあるのは、現在作りつつある総合計画の中に、皆様からの意見をいただいて形にしたいとのことですので、すべての皆様からご意見をいただきたいと思っておりますので、ご意見を頂戴いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○企画広報課長

ありがとうございます。これよりの審議会の進行を、桐山会長に願いたいと思っております。それでは会長お願いいたします。

○会長

それではこれより議事に入ります。

まず「関市第5次総合計画後期基本計画の施策について」を議題といたします。

事務局からのご説明をお願いいたします。

○事務局

それではまず始めに、議題の関市第5次総合計画後期基本計画の施策について施策1から10についてご説明いたします。

(事務局説明)

○会長

只今事務局より説明のありました内容の中で、ご質問やご意見のある方は挙手をお願いします。

○会長

私から意見を言わせていただきます。施策1 1頁(3)にある 複数の機関でより一層連携して対応するというところですが、協働することは良いですが、責任の所在がどこにあるのかを明確にして実際の取組に反映していただきたいと思います。

○委員

P10 施策 子育て支援に富岡保育園の改修と記載してあるが、改修ではなく新築でなかったのか。

○事務局

富岡保育園は新築ですので、そのように記載します。

○委員

P16 施設のバリアフリー化と記載があるが、もっと大きな視点で「ユニバーサルデザイン化」とした方が幅広いのではないか。

P18 部活指導員の設置ですが、中学校教員の働き方改革が他市町村でも進められていますので、遅れをとらないよう進めていただきたい。

○委員

文章の中の「連携」と「協働」の使い方に疑問がある。できれば、いろんな団体が含まれるときは、それぞれの団体・関連機関がそれぞれに主体性をもって協働して動く。そしてどこが中心で実施していくのかがあちこちしていてわかりづらい。「連携」と「協働」の言葉の使い分けを見直してほしい。

学校再編については、令和5年からの寺尾小学校の武芸小学校の再編が既に周知されているので、記載してもよいのでは。ユニバーサルデザイン的なこと、インクルーシブな社会も入れてもらおうとありがたい。

○会長

多様性というキーワードのなかで、インクルーシブという観点も皆さんにわかるように内容も充実し、表現も合わせていただきたい。

○委員

取組の方向性は当然実施してもらわないと困る内容である。主な取組案はどのよう

に進めていくのか、誰がどこで決定するのかがわからない。

例えば、P8の移動手段の確保支援は大事であるが、現状は大きなバスに1～2人しか乗っていないので、もっと小さなバスで良いのではないかという検討をされる場はどうなのか。P10の子育て支援は、保健師の受け持つ範囲が広く、片道1～1時間半程度かかるような状態であり、保健師のパート確保などはどのように考えているのか。P12健康づくりでは、旧郡部では、医療機関まで出かける足の確保のことも考えると検診車を活用すれば受診率は上がるのではないか。学校の長寿命化対応では、学校のプールは、老朽化対策として、既に中学校の一部で教師の負担も考慮し、民間を活用した授業を実施している。今度は小学校に広げることにはできないのか、わかきプールの活用はできないのか。中池のプールも老朽化しており、年間2か月程度の使用のためにお金をかけるのはどうかとの考えもあるが、屋内型のプールにした方が児童生徒も使用できるなど、活用の幅が広がりいろいろ考えられることはある。総論は良いが各論のその次、どのように実施していくのかなど、どの程度の発言を求められているのかで発言内容が違ってくるところがある。

○会長

今の意見は、取組の実施について、市民皆さんが均等に、誰もが同じような条件でできる環境づくりが必要であり、地域性など不便な点などがあれば、順次、見直して行う必要があるとの内容であるとの内容でよろしいでしょうか。

○事務局

続きまして、施策11から14についてご説明いたします。

(事務局説明)

○会長

事務局より説明のありました内容の中で、ご質問やご意見のある方は挙手をお願いします。

○委員

地域委員会の見直しのこともありましたが、地域委員会、地域おこし協力隊、集落支援員の関わりが非常に大きいと思いますので、この関わりを含めた地域委員会活動について明記してもらいたいと思います。

ボランティア活動の保険について課題があると思っています。各団体に所属している方は良いですが、ボランティア活動を積極的に実施していただいているそれ以外の保険の対象者でない方への対応も検討してもらいたい。

給食センターの統合により、配送に時間がかかり、冬では暖かい状態では食べれないとの現状を取組で考えていただきたい。

林業は、地域材利用の推進が大事だと思いますし、河川での遊業も観光面でも必要

だと思いますので検討していただきたいと思います。

○委員

P37 工業についてです。工業用地の確保は、500 坪から 2,000 坪の用地がほしいとの要望を聞いています。優良農地との関係もありますが、農振地域に指定されているため、工場用地や住宅用地にならないとの弊害があります。もう一度、優良農地と工業用地および産業用地の線引きの見直しを実施してほしい。それに関連して農振除外申請の回数が年 1 回であるが、近隣自治体のように年 2 回にしてほしい。また、その農振除外の判断をその市町村で実施しているなど、関市は他自治体と比べ、遅々として進まないため、美濃加茂市、可児市で企業が進出し、工場を建設するなど後れを取っている。

農地の担い手不足問題などがあるため、農業関係者と検討していただき、工業用地、産業振興に活用することは働き手の増加にもつながるため検討いただけたらと思います。農地を守ることと合わせて雇用の確保についても考えてもらいたい。

また、商業に関連しますが、本町や商店街など建物が老朽化したため取り壊ししたが、空き地になると固定資産税が高くなるとの声を聞く。市でも更地による固定資産税の増額分を支援していただき、更地を駐車場にするなどまちなかの活性化に取り組んでほしい。市内の商店街や飲食店の活性化のため、空き家や空き店舗活用に資する支援の検討をお願いしたい。

観光ですが、せきてらすの活用では、物販や案内以外に体験メニューを増やしたら良い。関のあらゆる産業・商業をアピールできるようなレイアウト、スタッフの配置など必要な見直しをし、関市を大々的にアピールしてほしい。

林業ですが、人工林の間伐は切り倒しになっている。これが水害の要因につながる恐れがあるため、伐採後の有効活用として資源となるようにしてほしい。

○会長

意見交換に入りたいと思います。若者や子育て世代の移住定住促進、女性活躍についてご意見をいただきたい。

○委員

支援は、一過性のものであり、できるのであれば実施してもらっても良いと思う。

自分たちで解決するもの、地域で解決するもの、行政が解決するものがあり、それぞれのようになればよいのかわからないところがある。

○委員

市の子育て支援事業については、大変感謝している。医療費の無料などを含め、子育て支援を当事者としてサービスを受けてきた。住んでいる場所は不便なところであり、高齢者が多く、子どもが少ないこともあり、実施してほしいと思うことは多々あ

る。健診を受けようにも足の確保が必要であり、民生委員さんが頑張っているという話も聞く。若い人が少ないため、地域のことは地域で解決していかなければならないと思っている。

○委員

まちづくり委員会で女性部会を立ち上げました。情報発信をあれこれ実施していますが、なかなか広がりが見えない。発信はするものの受け手をどう広めるのかが課題である。取組の中に SNS による発信とありましたが、どのように効果的に実施するのかが気になります。

○委員

コロナをきっかけに、日本全体が IT 分野で他国と比較して遅れを取り戻した感があります。主な取組として SNS での情報周知を取り入れるなどの記載があり、大変期待している。しかし、SNS 利用者は小中学校の保護者など若い世代に限られており、まだまだこれからの部分もある。これからもっと 20 歳代から 30 歳代の若者の世代の活躍が必要であり、若い人の声や交流など意見を取り入れる場を作る必要がある。若いリーダーを生み出すことを大事にしていかなければならないと思う。人口増加については、外国人の増加を関市の発展に照らし合わせて慎重に考える必要があると思う。全体として関市の発展には IT 化、若者のリーダー育成や若者との交流の場の活用が必要である。

○委員

子育て世代支援の結婚新生活支援金の利用実績をお聞きしたい。人口増加も含めて、人材、就労者のマッチングの際に県外から市の企業に就職すると県の補助金もあるが、関市の支援は転入者の縛りが非常に多い感がある。それほど実績がないのであれば、転入者・定住者問わず対象を広げるなど、条件を緩和するといったようにある程度広く支援することも行わないと効果が薄いのではないか。

女性活躍などについては、市の支援のみではなく、企業の取組を必要なのではないか。

○委員

岐阜医療科学大学は医療総合大学であり、関キャンパスに 1,000 人近い学生が通っており、通学生が多い。また、愛知県三河地方から通学に数時間かかる生徒もいるため、空き家など学生が有効利用できる取組があれば良いと思いました。高齢者の健康福祉、教育の知識も含め協力できることもあると思います。

○委員

関市は山に囲まれており、農作物は猿などの被害も多い。山の間伐も保水をしながら

ら川に流れるように上手に行うなど環境面の整備をすることが移住定住者の増加につながるのではないかと。

○委員

結婚新生活支援金の金額には20歳代と30歳代で金額の違いがあるが、年齢の区分けの理由についてお聞きしたい。

女性活躍についてですが、女性が働きやすい、必要があれば自宅に帰れる環境づくりが必要である。子どもが病気になったときなど、勤務先からすぐ帰宅できることができるよう、企業の理解もあるが、休んだ分の給料の減額分なども含め、時間的・金銭的なフォローなどを考えることも必要である。すぐ帰宅できるような企業への女性の就労支援の理解と企業へ補助金ということもあるかと思うが支援を考える必要がある。

高齢化問題ですが、ご主人が亡くなられ、高齢女性が一人暮らしとなった方は自治会活動を受けていただけない傾向がある。女性活躍といった視点で何か取り組む必要があるのではないかと。また亡くなられていく中で、空き家問題もある。他自治体では空き家バンクの登録で報奨金の支給という事例もあるが、PRも含め、もっと良い方法がないか考える必要がある。

○委員

他自治体では家賃補助支援が見受けられるため、関市でも検討されたらどうか。農業のみでなく後継者不足問題があるが、農業の後継者対策としてIターンなどを推進するためには、収入の面で兼業が必要であるため、各種企業にアルバイトなど雇用の協力をいただき、新規就農者につなげたい。また、畜産では、排泄物の悪臭問題も現在あるのでしたら取り組む対策としてあげてほしい。

○委員

関商工高校生徒が市内企業に就職した場合の就職後の支援をお願いしたい。関商工の先生や保護者に話を聞いたところ、関市企業の初任給、各務原市企業の初任給、木曾川を越えた県外の企業の初任給については、南へ行くに従ってそれぞれ1割ずつ高くなっていくため、市外の企業へ就職する生徒が多い状態となっている。せっかく、関市立として市の税金を使って学んでいただいた生徒ですので市内企業に就職した生徒への支援、企業に対する支援を考えてもらいたい。

観光は、長良川鉄道と観光に携わる方々との連携、協力をしていただけると観光の伸びがあると思う。鳥獣害対策では、捕獲した動物を山へ帰す取組も必要であると考えられるため、自然の中で解決できるよう里山整備などの取組も必要である。

○委員

労働人口不足は27～28年前から言われていることであり、常識化している。刃

物業界は好調ではあるが人材不足のため、ハイテク化、デジタル化、内製化に取り組んでいる。そんな中でも人材不足のため、かなりの費用を使いリクルートしており、人材を確保している。人口減少問題は、関市はもちろん他自治体も同じ状況であり、競争であるため、かなりのお金を使わないと転入者の確保は難しい。農振の除外については、従業員を増やすために工場を増床しようと思っても2～3年かかり、人も増やせないということになるため、緩和してもらいたい。

○委員

高齢者福祉に関心がある。高齢者のIT活動について、あんしんメールなどの返信方法がわからないことがあり、周りのみんなも困った経験がある。また、公共交通については、高齢者にとってはバス停までが遠い。免許返納してもバス停までの距離が長いとなかなか行くことが難しく、バスが使いづらい。もっと高齢者も使いやすい内容にしてもらいたい。他の自治体の取組にありましたが、フリーパスのように1日何回乗っても同じ金額のものがあればもっと使いやすいのではないかと。

高齢者にとっても住みやすい環境づくりをしてほしい。

○委員

重層的支援事業として関市は先進的に取り組んでいますが、いろいろな課が横でつながる必要があると思うので、福祉のみではなく、企業も含め、つながっていきたいと思います。

○委員

子育て世帯の支援事業として実施しているせきチケ・ベビチケの金額が少ないと思う。所得制限があるものについても、私の学校では、保護者の65%の保護者が共働き、フルタイムの仕事をしていると聞いているため、大多数が所得制限にかかると感じております。せめて関市は、所得制限を撤廃してもらい、子育てしやすい環境、飛びぬけたPRをしないと難しいと思います。特に新築住宅を取得するタイミングは子どもが小学校に上がる前に決断されることが多いと思うが、住みよさなど近隣自治体と比較検討する時に、所得制限がないのであれば、高所得者に住んでもらえる可能性もあると思います。兵庫県明石市も子育てに特化した取組に力を入れることで、人口が増加しているため、参考にしてもらえればと思います。

○委員

女性活躍の促進については、女性の従業員を積極的に雇用しているが、女性が働きやすい職場になっているのかということを考えながら聞いていました。作業スペースは快適になっていると思いますが、例えば、トイレは共用であるなど、設備投資まで行き届いていない状況です。関市は中小企業が多いため、こういった設備改修補助などがあればもっと女性が働きやすい環境整備につながると思います。

高齢者の IT 活用については、若い人と協力することで取組ができないかと考え、市内の高校生と一緒にできるよう声をかけた。

○事務局

いただきました質問の回答です。結婚新生活応援金の実績は 9 件です。20 歳代、30 歳代の年齢要件は、人口減少問題は晩婚化、少子化が課題であるため、これらに対応するための政策であると理解しています。

○会長

予定されておりました議題はすべて終了いたしましたので、ここで議長を降りさせていただきます。ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

○企画広報課長

貴重なご意見ありがとうございました。

本日いただきましたご意見を参考に、これから市民の皆さんの意見をお聞きしながら、後期基本計画策定に取り組んで参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

次回の審議会は、7 月 28 日を予定しており、続きの施策についてご意見を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それでは最後に、遠藤副会長にお願ひします。

○副会長

皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。事務局においては、本日の意見を反映してもらいたいと思ひます。今日は長い時間ありがとうございました。これで終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

(午後 0 時 20 分 閉会)